

11月17日

労働局長が長時間労働の削減・働き方改革に取り組む 先進企業（ベストプラクティス企業）を訪問しました。

11月は、「過労死等防止啓発月間」です。徳島労働局では、過重労働解消に向けたキャンペーンの一環として、長時間労働の削減等に向けて積極的に取り組んでいる企業を労働局長が訪問し、その取組が、報道機関により県内企業に紹介されました。

労働局長による「ベストプラクティス企業訪問」

1 訪問先

富田製薬株式会社 鳴門市瀬戸町明神字丸山85-1

2 訪問日時

平成28年11月17日(木) 午前9時30分～

人事部の説明から

富田製薬株式会社の主な取組

- ・ トップメッセージの浸透活動
- ・ 所定外労働時間の管理および削減指導
- ・ GW、夏季、年末年始長期連続休暇の取得
- ・ 家族同伴の社員旅行の実施
- ・ 社内サークル活動の助成

効果

- ・ 富田で働く意欲・帰属意識の向上
- ・ 労働生産性の向上、コストダウン
- ・ 人材の育成
- ・ グローバル視点の醸成
- ・ 社員コミュニケーションの活性化

富田製薬株式会社

会社概要

創業/1893年1月1日 設立 1955年7月8日

代表者代表取締役 富田純弘

従業員数 470名(2016年10月末日)

事業内容/医薬品、医薬部外品、食品添加物、化粧品、試薬などの製造
および販売

出席者

富田製薬株式会社

代表取締役 富田 純弘 氏

人事部次長 夏目 敦子 氏

人事部人事課 斎賀 学 氏

徳島労働局

局長 飯野 弘仁

監督課長 西泉 ひとみ



向かって右が
代表取締役 富田純弘氏

会社は、公のものであり、従業員のためにあり、人づくりを大切にして、地域・世界に貢献したい。

・従業員が満足しないと良い製品が作れない。この点からも、働き方改革が必要である。

「従業員・お客さま・世間のために」の三方よし。と企業理念の説明がありました。



人事部次長から取組として、従業員の帰属意識、富田で働く意欲の向上を目指して毎年度末、全従業員が集まり「経営方針発表会」を行っていること。

トップが毎朝、各部署の朝礼に参加していること。

働きやすいやすい職場環境の整備やコミュニケーションの活性化をめざしていると説明がありました。



テレビ局の取材に、会社は、従業員のためにあり、従業員が幸せに暮らしてゆける会社でありたいと方針を説明する代表取締役の富田氏